

地域コミュニティを活用した商店街活性化の提案

史 中超 研究室

1131119 高橋 健

1. 研究背景・目的

近年、「シャッター通り」という言葉をテレビでよく聞くようになった。商店街の衰退が進むと、治安の悪化や地域の無個性化、愛着の低下、交通弱者の買い物が困難になるなど、様々な問題を引き起こすことになりかねない。このような光景が日本全国で広がっている今、少子高齢化や自動車社会の進展、女性の社会進出などの様々な社会情勢を反映し、あらたな商店街に再生していくべきである。

本研究では、少子高齢社会と女性の社会進出の到来に向けて、衰退の進む商店街を再生し、高齢者の社会参画の促進と総合的な生活サポートを提供できる場として、改善していくことを目的とした。

2. 日本の商店街と役割

商店街の役割は主に以下のものが挙げられる。

- ① 生活必需品を提供し、日々の生活を支える役割
- ② 地域コミュニティを形成し、大災害が発生した時の円滑な救助活動や、不審者の存在にいち早く気付ける防犯対策などに貢献する役割[1]
- ③ 街づくりの方向性を決める役割
- ④ 高齢者の社会参画を促す役割
- ⑤ 子育てをサポートする役割

しかし、商店街は衰退しているのが現状である。

図1は商店街の空き店舗率の推移を表したグラフである。これをみると、空き店舗率が年を追うごとに上昇していることが分かる。

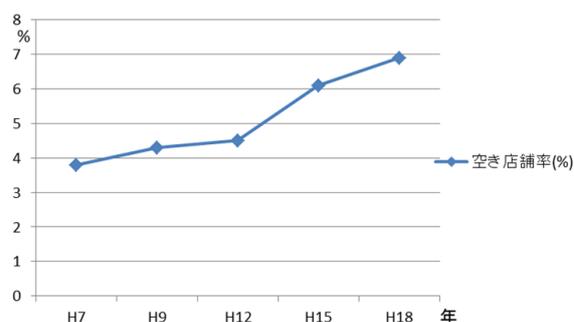


図1 空き店舗率の推移

出典：横浜市-商店街に関する調査

商店街が衰退すると、以下の問題が引き起こされる可能性がある。

- ① 施設などがメンテナンスされずに放置され、犯罪の温床になる可能性
- ② 地域コミュニティが衰退し、高齢者による犯罪と孤独死の増加[2]
- ③ 買い物難民の増加

3. 商店街サンプル調査

本研究ではまず、商店街の活性化策を実施している成功事例と、シャッター通りと化してしまった衰退事例の現地調査と聞き込み調査を行った。成功事例での取り組みと、衰退事例の問題点および改善点を見つけ出すことが目的であった。

成功事例としては、神奈川県横浜市保土ヶ谷区に存在する「洪福寺松原商店街」を選定した。商店街の内部は歩行者天国になっており、安心して買い物をできる環境であった。北側には専用の駐車場が整備されており、近隣以外からも広く集客が可能であった。また、駐車場には商店街の中であれば自由に使える専用カートが用意されており、買い物客が利用している姿を見ることができた。

商店街には専用のホームページがあり、店舗やイベント情報などを確認できた[3]。

衰退事例としては、神奈川県横浜市瀬谷区に存在する「瀬谷駅前名店街」を選定した。図2は商店街の見取り図である。北側の店舗スペースは近年リニューアルされた。しかし、その多くは空き店舗であった。特に土休日になると、昼間にも関わらず開いている店が一件もない状態であった。南側にも店舗用スペースが多数あるが、北側と同様に、空き店舗が多いうえ、施設が老朽化していた。南端には案内図が設置されているが、情報が古くまったく役に立たない。



図2 商店街の見取り図

4. 改善策の提案

瀬谷駅前名店街の改善策を提案するにあたっては、問題点を調査した結果、施設、構造からサービス面まで問題点があることが判明したので、ハード面とソフト面での両面から提案をおこなう。

以下は、ハード面での提案である。

- ① 空き店舗が多く建物が老朽化していて危険な南地区を取り壊し、高齢者交流施設と商店街専用駐車場、及び駐輪場を設置することを提案する。これは、商店の集約化を図り、買い物しやすい商店街にすると共に、集客力の向上を図るためである。
- ② 東地区と西地区を結ぶ道路と南地区の道路を歩行者天国とすることを提案する。これは、歩行者の回遊性が高まり、買い物しやすい環境になるためである。

ソフト面での提案として、以下のものが挙げられる。

- ① 商品の宅配サービスの導入を提案する。これは、足の悪い高齢者の買い物の負担を減らすためである。
- ② 南端の看板を最新の情報にし、設置場所を増やすことを提案する。これは、商店街に初めて来た人の買い物を楽にするためである。
- ③ 商店街専用のホームページもしくはアプリを製作し、店舗情報やイベント情報などを掲載することを提案する。これは、若い人や商店街に来たことのない人が興味を持ち、新たな集客を見込めるためである。
- ④ スポーツクラブ NAS の利用者に商店街のクーポン券を配布することを提案する。これは、スポーツクラブ NAS 利用者が商店街に目を向けてもらうためである。

5. まとめ

本研究では、衰退の進む商店街の再構築を目的とし、実地調査と聞き込み調査を行い、問題点や改善点を分析したうえで、ハードの面とソフトの面の両面から改善策を提案した。

研究を進めていくにあたり、成功事例と衰退事例とは大きな差があることを実感し、成功事例で実践していることを衰退事例でうまく取り入れる必要があると感じた。

6. 参考文献

- [1] EGAO 商店街支援ノウハウ
<http://www.syoutengai-shien.com/knowhow-tool/knowhow/01.html>
- [2] 第二部 特集「高齢犯罪者の実態と処遇」 - 法務省
<http://www.moj.go.jp/content/000010212.pdf>
- [3] 横濱洪福寺松原商店街オフィシャルサイト
<http://kofukuji-matsubara.com/>